

案内

『オンギジャンイ』について

『オンギジャンイ』は、讚美を通して「主とその教会に仕えてゆく」ことを目的とした韓国の讚美宣教団です。1987年にイエス・キリストの愛を必要とする全ての人々に、讚美を通して主のことを知らせ、伝道させていただこう、というビジョンをもって集まった若者達によって結成されました。結成以来、その働きは韓国国内のみならず海外においても、大きく用いられております。「オンギジャンイ」とは韓国語で「陶器師」の意味で、歴代誌上4章23節に由来しており、神様のお働きに参加したいという願いが表されています。

青山学院大学・短大学生歓迎日曜礼拝

日時 11月10日 10時30分～11時30分
場所 青山キャンパス ガウチャー記念礼拝堂

青山学院創立記念日

11月16日(土)は、学院創立145周年記念日です。学院のルーツをたどると、1874年に東京・麻布の本村町に開設されたスクーンメーカーの女子小学校に行きつきます。ドーラ・E・スクーンメーカー(1851～1934)は、23歳の若さで米国のメソジスト監督教会から初めて日本に派遣された女性宣教師でした。彼女は米国で小・中学校の教師をした経験を生かし、小学校、しかも女子教育からその働きを開始しました。

しかし当時の封建的な日本社会は女子教育を行うまで発展しておらず、教具もままならないまま、10畳たらずの部屋に男子を含めて数人での授業でした。やがてそれが、「救世学校」「海岸女学校」と発展し、別に発展してきた「美會神学校」「耕教学舎(東京英学校)」と合流して青山の地で「青山学院」となり、現在に至っています。その間の多くの先達の信仰的な祈りと努力が、今もキリスト教信仰にもとづいた学問教育の伝統となって青山学院に脈々と流れています。

創立145周年記念パネル展示

会期 11月1日(金)～28日(木)
展示場所 ガウチャー記念礼拝堂、短大礼拝堂前、ウェスレー・チャペル 他

創立記念礼拝

日時 11月15日(金) 10時30分～11時
青山キャンパス 奨励者 鷓飼 眞 本学常務理事
相模原キャンパス 奨励者 楯 香津美 本学常務理事

青山学院大学・短大礼拝週報

2019. 11. 4.
No. 23

神の国節第21週

青山学院の歩み [22]

かつ た ぎん じろう
勝 田 銀 次 郎

第四代高木院長の学院拡張計画は校友の間に熱心な賛同を得ることができ、優れた校友たちが次々と現れて、母校発展のために惜しみない援助を捧げました。その一人に勝田銀次郎という大先輩がいます。

勝田は1873年に愛媛県に生まれ、1892年に東京英和学校を卒業し、1916年には船舶関係を扱う勝田商会の社長になり事業を成功させました。勝田はまた、母校愛に篤く、教育事業の重要性をよく知る人物で、拡張計画に係る建設費一切の寄附を約束したのです。この寄附により1918年に、まず院長館ができ、次いで煉瓦造2階建、総面積600坪という目の覚めるような美しい校舎が建てられました。その年の学院創立記念日には落成式が挙行政され、この校舎に「勝田館」という名が与えられました。式には全生徒900余名、来会者600名が集まり、大隈重信、井深樞之助他の演説があり、「実に学院ありてより未曾有」の盛会であったと伝えられています。



今年度の主題聖句

人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。

(マタイによる福音書 第7章12節)

今週の聖句

「愛は忍耐強い。愛は情け深い。」(コリントの信徒への手紙 ー 第13章4節)

解説：コリントの信徒への手紙 ー 第13章は、使徒パウロの「愛の賛歌」と呼ばれる信仰の詩です。その冒頭に「愛は忍耐強い」と記されています。主イエスは十字架につけられながら、神よ、この罪人たちをおゆるし下さい、彼らは「知らずに」しているのですから、と祈られました。パウロは初めキリスト教徒を迫害しましたが、主イエスの教えに目覚め、福音の伝道者となりました。その彼が、信じていないとき「知らずに」行ったことなのでゆるされました、と語っています。パウロは、主イエスの愛の忍耐強さを自ら実感した人だったのです。

青山キャンパス／ガウチャー記念礼拝堂

(月～金・10時30分～11時)

11月4日(月)

(振替休日)

11月5日(火)

司式 大島 力
説教 田中かおる
(安行教会牧師)
前奏 奏楽 作井清雅子
招詞
讃美歌 (茶色) 121(1,3,4節)
聖書 エフェソ 2:14～16
(新354頁)
説教 「新しい人として
生きる」
祈禱
頌栄 (茶色) 539
祝禱
後奏

夕礼拝／短大礼拝堂

(火・18時～18時30分)

夕礼拝

11月5日(火)

コンテンポラリー礼拝
聖書 ルカ 18:9～14
(新144頁)
メッセージ
「隣れまれなかったら」
田所 慈郎
(富士見丘教会牧師)
ワーシップ・ディレクター
塩谷 達也

相模原キャンパス／ウェスレー・チャペル

(月～金・10時30分～11時)

11月4日(月)

(振替休日)

11月5日(火)

司式 吉岡 康子
説教 広田 叔弘
(梅ヶ丘教会牧師)
前奏 奏楽 羽柴 真樹
招詞
讃美歌 (灰色) 513
聖書 マタイ 7:7～12
(新11頁)
説教 「人してもらいたい
こと」
祈禱
頌栄 (灰色) 25
祝禱
後奏

11月6日(水)

司式 藤原 淳賀
説教 山崎ランサム和彦
(鶴見聖キリスト教会協力牧師)
前奏 奏楽 堀井美和子
招詞
讃美歌 (茶色) 90
聖書 マタイ 6:9～13
(新9頁)
説教 「御国が来ますように」
祈禱
頌栄 (茶色) 540
祝禱
後奏

11月6日(水)

司会 教4 伊藤 えみ
説教 浅原 一泰
(中等部宗教主任)
前奏 奏楽 越川伊豆美
招詞
讃美歌 (茶色) 217
聖書 イザヤ 55:10,11
(旧1153頁)
説教 「正直に、そして
諦めずに」
祈禱
頌栄 (茶色) 540
祝禱
後奏

11月7日(木)

司式 吉岡 康子
聖書 ヨハネ 12:21～24
(新192頁)
メッセージ
「イエス様に会いたいです」
オンギジャンイ
(韓国讃美宣教師)

11月8日(金)

司式 高砂 民宣
説教 高橋 和人
(田園調布教会牧師)
前奏 奏楽 堀井美和子
招詞
讃美歌 (茶色) 1180
聖書 マルコ 10:46～52
(新83頁)
説教 「信仰開眼」
祈禱
頌栄 (茶色) 541
祝禱
後奏

11月7日(木)

説教 大宮 謙
(大学宗教主任)
前奏 奏楽 作井清雅子
招詞
讃美歌 (灰色) 385
聖書 Iコリント 15:1～11
(新320頁)
説教 「トラディション」
祈禱
頌栄 (灰色) 26
祝禱
後奏

11月8日(金)

説教 塩谷 直也
(大学宗教部長)
前奏 奏楽 鷺 晶子
招詞
讃美歌 (茶色) 1194(1,2節)
聖書 ルカ 17:7～10
(新142頁)
説教 「『神のために』という
表現はよくない」
祈禱
讃美歌 (茶色) 1194(3節)
祝禱
後奏

讃美歌(灰色): 讃美歌21
讃美歌(茶色): 讃美歌・讃美歌第二編